

報道関係者各位

【健康と安全のための包括的性教育を目指し、学習指導要領の見直しを】**署名提出 および 記者会見のご案内**

【日時】 2022年11月30日（水） 14時00分～

文部科学省への署名提出 （13時45分 集合）文部科学省

15時00分～ 記者会見：文部科学省 会見室

正しい性の知識と判断力を育む支援により、これからの世代が自分らしく生き、豊かな人間関係を築ける社会の実現を目指すNPO法人ピルコンでは、包括的性教育を求める約4万3千筆の署名を11月30日（水）に文部科学大臣宛に提出し、同日記者会見を行います。

ユネスコは国際的な性教育の指針『国際セクシュアリティ教育ガイダンス』を発表し、「包括的性教育」を推奨しています。包括的性教育は人権尊重・ジェンダー平等や性の多様性を基づき、性について幼い時から段階を追って詳しく幅広く体系的に学ぶことで、予期せぬ妊娠や性感染症等のリスクを減らし、より責任ある行動を促進するとされています。しかし日本の学校教育では、小・中学生の学習指導要領において、「人の受精に至る過程は取り扱わないものとする」「妊娠の経過は取り扱わないものとする」といういわゆる「はどめ規定」があり、学校教育で性交や避妊は取り扱わない風潮が続いてきました。更に、今年10月26日に開かれた衆議院文科委員会の質疑においても、永岡文部科学大臣は規定を見直す考えがないことを明らかにしています。

その一方で、令和2年度の10代の人工妊娠中絶件数は約1万件で、15歳以下でも400件以上が報告されています。来年度からは、性暴力防止を目的とする生命（いのち）の安全教育が全国で実施を予定されるなか、性と妊娠に関する正しい知識を体系的に身につけられるよう「はどめ規定」を含む学習指導要領を見直し、科学的根拠と人権に基づく包括的性教育の充実化・推進を求めます。

【概要】（予定）日時：2022年11月30日（水）

1. 文部科学大臣への署名提出 13:45 文部科学省 集合（2階ロビー）

※人数制限がございますので、取材ご希望の記者の方は必ず下記お問合せにご連絡ください。
希望者多数の場合はご取材をお受けするのが難しい場合もございますので、予めご了承ください。

14:00～14:20 文部科学大臣宛の署名提出

●自己紹介及び署名説明 ●署名手渡し

（受取り：大臣官房審議官 安彦広齊氏、スポーツ庁スポーツ総括監 大西啓介氏他）

2. 記者会見 15:00～15:45頃 文部科学省 会見室にて

●署名の説明、内容の背景等 ●文部科学大臣宛への署名提出について

登壇者：NPOピルコン理事長 染矢明日香、若者ボランティアスタッフ

“人間と性”教育研究協議会代表幹事 水野 哲夫氏他

【健康と安全のための包括的性教育を！署名キャンペーン】 <https://www.change.org/adachi-karada>

賛同者数 4万人超！（2022年11月現在）

10代を取り巻く妊娠・性感染症や若年妊娠による貧困をはじめとした、性に関する深刻な現状を踏まえ、健康と安全のために不可欠な人権教育としての包括的性教育の推進と、学習指導要領の見直しを求めます。

【お願い】 活字媒体の公開にあたりましては、お手数ですが、当プロジェクトに内容確認をお願いいたします。

【取材お問い合わせ先】 NPO法人ピルコン <https://pilcon.org>担当：染矢明日香 **E-mail : a.someya@pilcon.org** TEL 090-5179-3449